

# 伝言板



企画課 ☎57-8503

## 夜 10月14日(日) 夜須支所 ☎55-3141 須川をきれいに

「夜須町の真ん中を流れ、夜須のシンボルでもある夜須川の土手に散歩道をつくらう」を合い言葉に、夜須川一斉清掃を実施しました。参加者は、近隣住民やボランティア約240人。天候にも恵まれ、参加者たちは朝早くから土手の草刈りに汗を流し、みるみるうちにきれいな散歩道ができました。参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



## 四 10月23日(火) 防災対策課 ☎57-8501 国電力から防犯灯と海拔表示板を寄贈

毎年、10月20日から31日までの「よんでんグループふれあい旬間」に香南市は防犯灯の寄贈を受けています。これは、明るいまちづくりに協力する地域共生活動の一環。市内3カ所へ「LED防犯灯」と、今年は新たに、電柱へ設置する「海拔表示板」10枚の寄贈を受けました。授与式では、四国電力の佐野喬山田営業所長が、市長へ目録を手渡しました。



## 10月25日(木) 高齢者介護課 ☎57-8510 みんなで楽しく介護予防

毎週木曜日、のいちふれあいセンターで行っている脳の健康教室に、RKC高知放送「かつおの笑顔にざぶとん一枚2」の取材がありました(11月11日に放映済み)。教室では、簡単な読み書き・計算をしてみんなで楽しく認知症の予防“楽習”をしています。その中で仲間も増え、サポーターとの交流も。カメラが入り少し緊張した様子でしたが、インタビューになると教室の魅力をたくさん語ってくれました。「友達もできて、家での“楽習”の習慣もついて来て良かった」など、皆さん笑顔で答えていました。



## 消 10月23日(火) 消防本部 ☎55-4141 消防庁舎使用に関する協定を締結

市と香南警察署は、大規模災害発生時に、同署が倒壊などで使用不能となった場合、消防庁舎の一部を代替施設として使用できるように協定を結びました。

これまで、近い将来必ず発生する南海地震において、海拔約4mに位置する同署が、津波浸水予想区域に含まれているため、初動対応の遅れが懸念されていましたが、北西約650mほどの位置にある、海拔約13mの消防庁舎を代替施設として確保できたことで、初動対応の迅速化のみならず、消防本部との被害状況などの情報共有や連携した対応にも期待が持たれます。



## 福 11月12日(月) 福祉事務所 ☎57-8509 福祉避難所の設置運営に関する協定を締結

市と「愛童園」「風車の丘あけぼの」が、災害時の「福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。

これは、次期南海地震などの大規模災害時において、一般の避難所での生活が難しく、特別な配慮が必要な要援護者(乳幼児・精神障害者および知的・発達障害者が対象)の受け入れを行うものです。

この協定では、福祉避難所の開設から要援護者の受け入れや必要な物資の調達など、避難所の運営に必要な事項を定めています。

清藤市長は「災害弱者あるいは要援護者の対策が急務となっている中、福祉避難所の協定を締結していただいたことは、今後の地震対策において新たな前進ができました。今後とも更なる地震対策に取り組んでいきたい」と述べました。



## 第6回 津波避難対策ワークショップ

第6回は、避難路等のハード施設についての話し合いを行う予定です。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

- ★12月22日(土)
  - 10時～12時 夜須中央公民館
  - 14時～16時 赤岡市民館
- ★12月23日(日)
  - 10時～12時 吉川総合センター
  - 14時～16時 香我美市民館
  - 18時～20時 のいちふれあいセンター

■問い合わせ 防災対策課 ☎57-8501  
農林課 ☎57-7517

～心豊かにより楽しく生きがいを感じる人生を～

平成24年度香南市市民大学

## 第7回 香南いきいきセミナー

# 学びの秋

9月27日(木)から10月28日(日)まで開催された市および市教育委員会主催の「香南いきいきセミナー」。7回目となる今年も、個性・人生観豊かな講師陣4人を迎え、笑いあり、感動あり、そして気づきありと、すばらしい“出会い”があり、各講座とも大盛況でした。延べ約1,340人の受講者は、お互いに楽しみ合いながら学び、明日の新たな一歩を新鮮に歩み出すことができたことでしょう。

来年も多くの方に参加していただけるよう、魅力的なセミナーを開催する予定です。

### ◆第1講座

#### ありのままの自分を 受け入れて生きること

生まれつき両腕と右足がない先天性四肢欠損症の佐野さん。子どものころに悩んだ「ありのままの自分を受け入れることの難しさ」や「友達との関わり方」などを笑いを交えながら、時には深刻な内容もユーモラスにお話していただきました。「自分を受け入れるためには、まず自分を信じて、自分自身を好きになること。“笑顔”そして“感謝”の気持ちの大切さを常に感じて、毎日を明るく楽しく歩んでいこうと心がけています」という前向きな言葉をもらった約380人の受講者は、佐野さんの生き方に励まされ、元気と勇気ももらったことでしょう。



車いすのアーティスト  
**佐野 有美**  
(さの あみ)

マリンホール  
**9.27(木)**  
19:00～20:45

### ◆第2講座

#### ヘルシー落語

～一笑健康 笑えば治る～

「笑うことは体を活性化させてくれるんです。がん細胞を壊してくれる細胞も、笑えば活性化される。血糖値も下がる。これは医学的に証明されているんです。それを皆さん、いきいきセミナーは4回で1,000円だから、たったの250円で予防できているんです」と、軽快なトークで、健康講座が行われました。また、認知症や生活習慣病を題材にした落語も行われ、会場は病気や医療などの話になると静かに聞き入り、冗談を交えた話になると笑いで包まれていました。約350人の受講者は健康教育とともに、笑いで疾病予防もできた一日となりました。



医学博士・落語家  
**立川 らく朝**  
(たてかわ らくちょう)

サンホール  
**10.4(木)**  
19:00～20:30

### ◆第3講座

#### サザエさん一家は 幸福みつけの達人ぞろい

「サザエさん」のマスコ役をやって40年という増岡さん。もともと半年の放送予定で始まった「サザエさん」。長い間、飽きずに見てもらえる理由を出演者の中で話し合い「1日何杯飲んでも飽きない、飲みごころの日本茶の味じゃなあ」という結論になったことや収録の様子などを紹介。

また「1度、口から出た言葉は、もどくには戻りません。褒める言葉も叱る言葉も励ます言葉もみんな相手に対するプレゼント。家族であっても言葉の20%しか伝わらないもの。もっと言葉を大切に」とユーモアを交えたトークに、会場は笑い声で包まれていました。



声優・俳優  
**増岡 弘**  
(ますおか ひろし)

マリンホール  
**10.13(土)**  
19:00～20:30

### ◆第4講座

#### 市原悦子 「朗読とお話の世界」

市原さん自身の基礎を作った大事な時期だという、戦後の食糧難の時代と疎開先から自宅のある千葉市へ戻ってからの、「13・14歳のときに出会った音楽の先生のこと」「みんなから嫌われたり、仲間はずれにされているような人に近寄り、関わるのが好きだった劇団時代のこと」など数々のエピソードを話されました。

また、トークの合間には、子どもの詩集「たいようのおなら」から数編と香南市に伝わる民話「どくれの半四」などの朗読も行われ、観客は、耳に流れるように入ってくる市原さん独特の語り、うっとり聞き入っていました。



女優  
**市原 悦子**  
(いちばら えつこ)

マリンホール  
**10.28(日)**  
19:00～20:30